

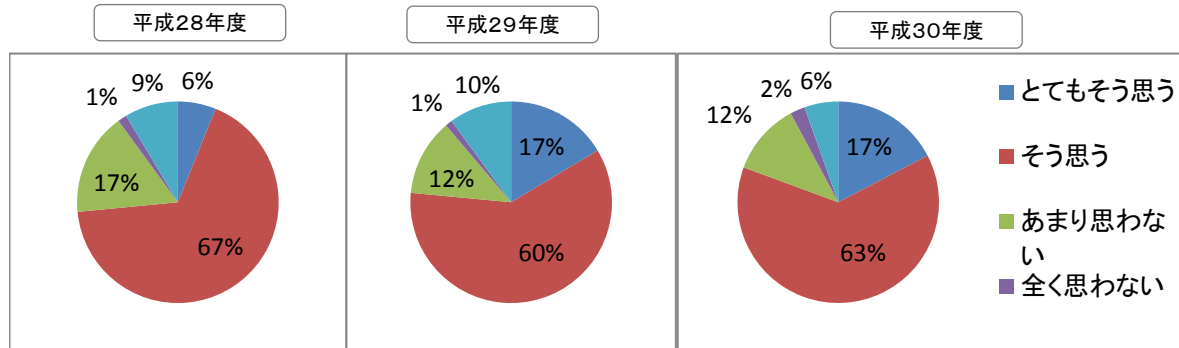
平成30年度 学校教育に関するアンケート結果

西東京市立本町小学校

[1]

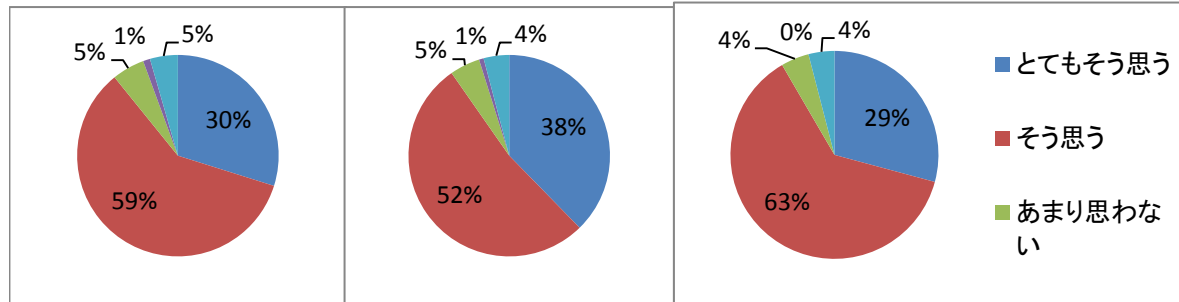
<教育方針>

【質問1】 学校がどのような学校をつくろうとしているか保護者も理解している。



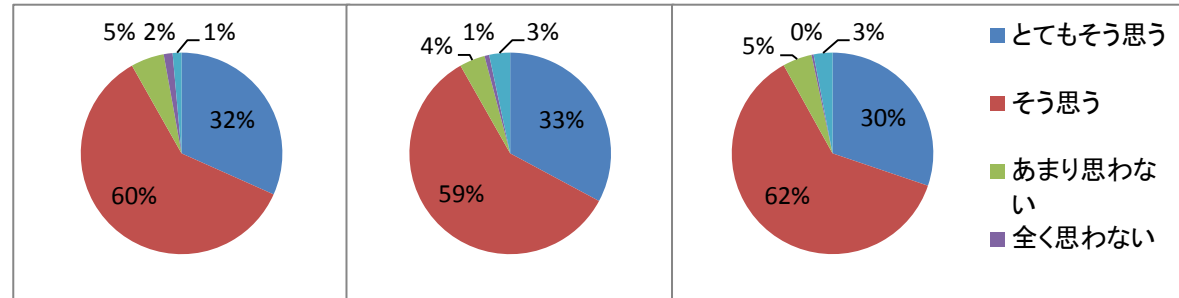
校長が本町小に赴任してから3年間が経ち、学校づくりに御理解をいただいた結果、年々肯定的評価が増え、今年度は8割の保護者の皆様に肯定的な回答をいただきました。しかし一部の保護者の皆様には御理解いただけていないようです。より一層学校経営方針について理解していただけるよう、ホームページや学校便り、年度初めの保護者会等を通してお伝えしていきます。

【質問2】 学校は「特色ある教育活動」(理科・生活科教育・縦割り班・親子DEOO)を推進している。



年々肯定的評価が増えています。本校は西東京市理科拠点校であり、担任と理科講師の複数体制で理科の授業を行い、理科教育の充実に力を入れております。さらに多摩六都科学館や東京農工大学との連携も毎年継続して行っております。親子DE観望会や親子DE漢字検定などの取組についても3年間継続して行ったことで、十分御理解いただけていることが分かります。

【質問3】 学校で行われる学校行事は適切である。

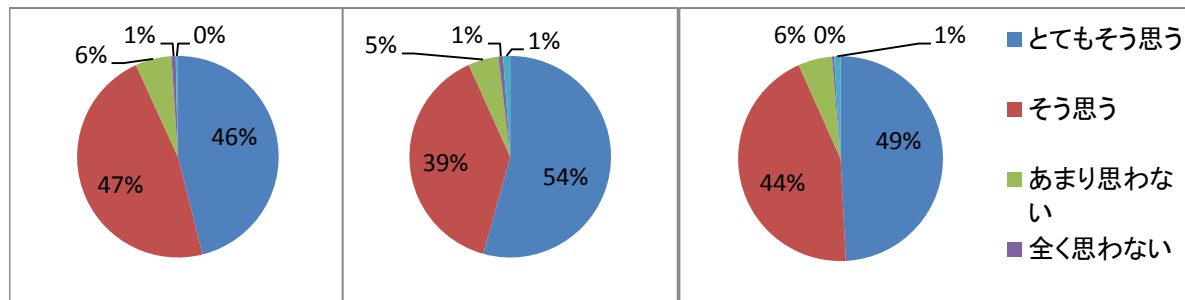


3年間を通して肯定的評価は92%で、本校の学校行事に関して、概ね満足していただいていると考えられます。学芸会を毎年や1年おきに実施してほしいという御意見もあるほど、今年は学芸会が成功裏に終わりました。秋の行事では演技での表現力・音楽での表現力・図画工作での表現力をバランスよく育成していきたいと考えます。秋の学校行事は、学芸会・音楽会・展覧会のローテーションで行いますので来年度は初めての音楽会の開催となります。音楽会も今年度同様、実り豊かなものとなるよう、準備を進めていきます。

<児童の様子>

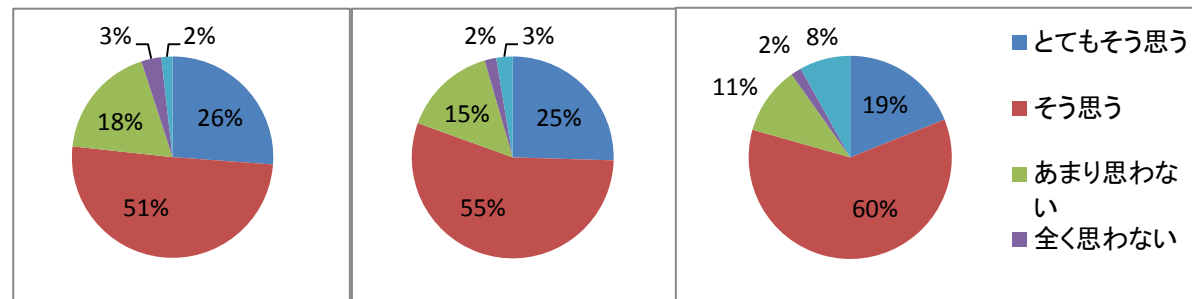
[2]

【質問4】 お子さんは楽しく学校に通っている。



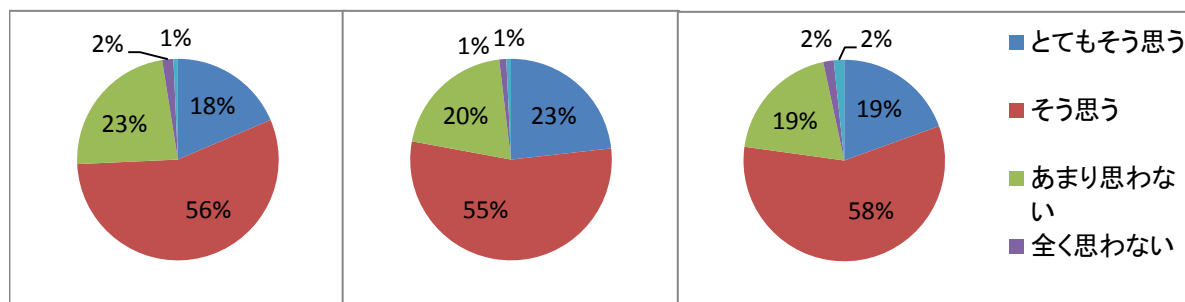
93%の児童が楽しく学校に通っていることは、「児童の笑顔輝く学校づくり」を目指している本校にとって、とても喜ばしいことです。学校の楽しさは友達関係だけではなく、学習がよくわかることも大きく関係しています。そこで、一人一人の学習状況やつまづきを把握し、学習が分かる楽しさがさらに感じられるよう、日々の授業の工夫をしたり放課後補習体制を推し進めたりしていきます。これからも子供一人一人の笑顔輝く学校づくりを教職員が共通理解し、チーム本町小として取り組んで参ります。

【質問5】 お子さんは授業中落ち着いた態度で学習に取り組んでいる。



2月19日に研究発表会がありましたが、来校した来賓や教員の皆様から、児童が落ち着いて生き生きと学習していることをお褒め頂きました。この質問でも同様に、学校全体としては落ち着いて学習に臨んでいるという評価となりました。しかし学級によっては十分でないという評価もいただきました。担任と子供との信頼関係を大切にしながら、「本町小学習スタンダード」を基に授業規律を教職員間で共有し、落ち着いた学

【質問6】 お子さんは基本的な生活習慣や学習習慣が身についている。

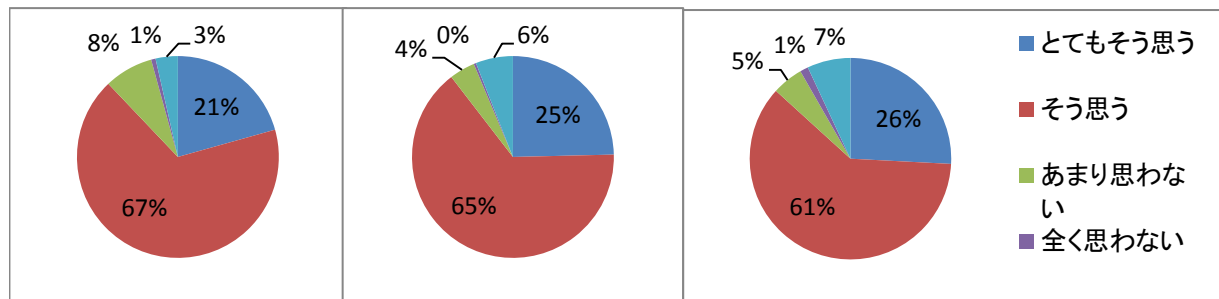


基本的な生活習慣や家庭での学習習慣は、学校で指導するだけでなく、御家庭との連携が不可欠です。学校では、長期休業中に乱れがちな生活習慣を整える一助となるよう、「元気いっぱい週間」を学期の始めに設定しています。4月の保護者会では、本町小の教職員が作成した「家庭学習の手引き」をお渡しします。児童にも家庭学習の仕方を全クラス指導しています。「家庭学習の手引き」を御活用いただき、学校と家庭が連携して、児童の基本的な生活習慣や学習習慣を育成していきたいと思ひます。

<学習>

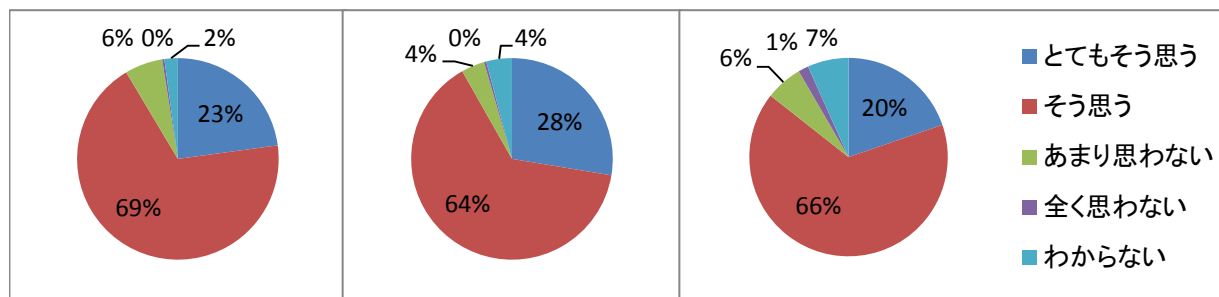
[3]

【質問7】 学習内容が身につく授業が行われている。



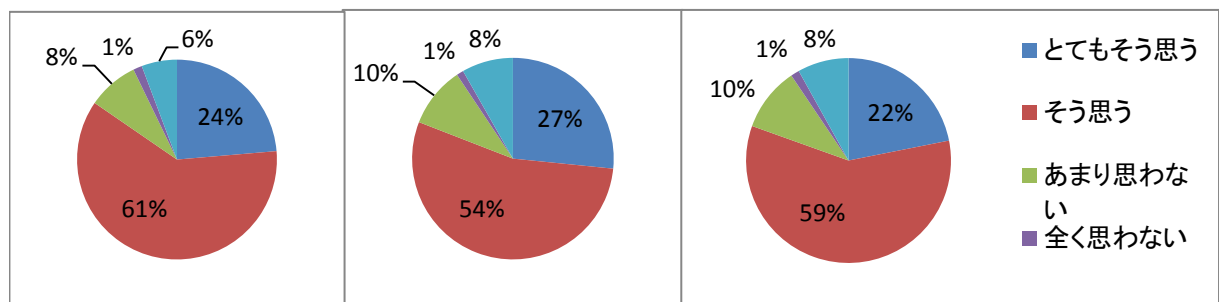
昨年度、一昨年度と比べ、本年度はやや低くなっており、学習内容が十分に身に付く授業が行われなかったという結果を、担任一人一人が重く受け止めます。本校では今年度までの2年間、「思考力・判断力・表現力を身に付けさせる学習の創造」という研究テーマのもと、授業改善に取り組んで参りました。先日研究発表会を終え、この研究は終わりとなりますが、この2年間で培ったことは来年度も引き続き授業改善に役立て、これからの時代を生きていくために必要な力が身に付く授業となるようさらに教材研究をして参ります。教材の工夫や事前の準備等をしっかり行うことで、「分かる」授業を心掛けていきます。

【質問8】 授業の工夫や補習など、学力向上に努めている。



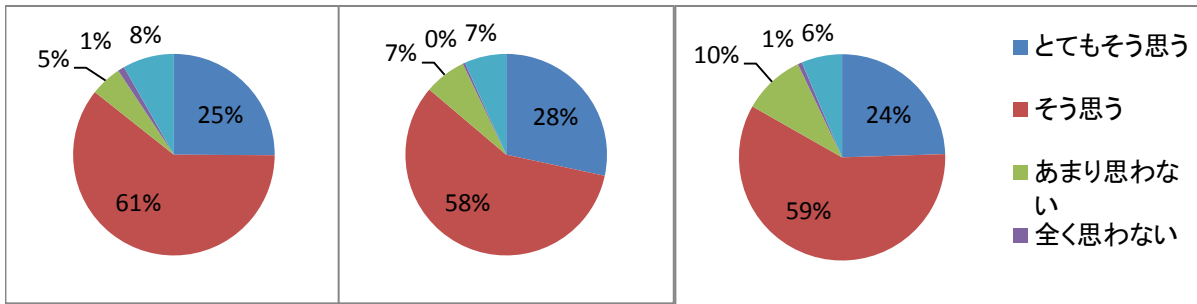
【質問7】と関連してくる項目で、評価が下がっています。今年度は学年を絞りこんで、きめ細やかな補習「スキルアップタイム」を年間21回行いました。一方で各学年で十分な補習の時間はとれませんでした。来年度は、今までの仕事内容を見直したり改善したりする等、教員の働き方改革を進め、授業の工夫をする時間が確保できるようにしていきます。また、授業における書画カメラの活用やホワイトボードを使った話し合い活動、ゲストティーチャーを招いた体験的で主体的・対話的な学習を意図的に取り入れ、授業の工夫に努めます。

【質問9】 子供の良さを認め、力を伸ばす指導が行われている。



児童の笑顔輝く学校づくりのために、担任も専科教員も1学期の間、中休みは一緒に遊んだり、給食の時には児童の班と一緒に昼食を食べたりし、一人一人の児童理解に努めてまいりましたが、保護者の皆様には十分には伝わらなかったようです。この結果を真摯に受け止め、来年度も児童との関わりを深めながら、保護者会や個人面談を活用し、学校という集団生活の中で見られるその子の良さや伸びているところ、課題等を具体的にお伝えして参ります。

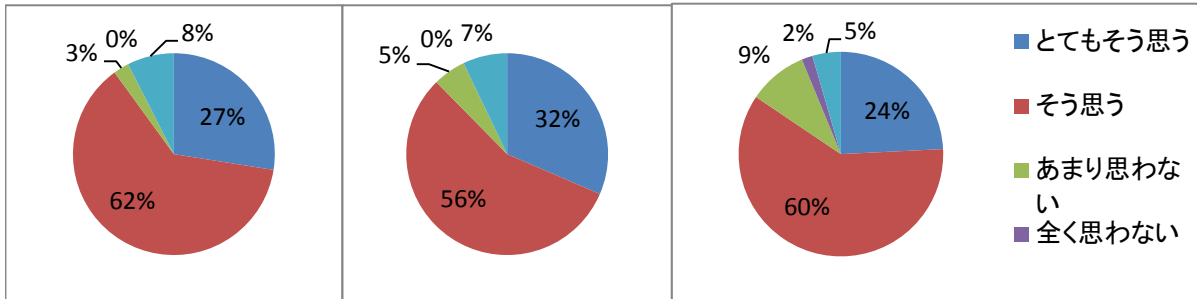
【質問10】礼儀やあいさつ、思いやりなど、心の教育に取り組んでいる。



3つの「あ」(「あいさつ」「あんぜん」「あとかたづけ」)をキャッチフレーズに、事あるごとに挨拶の声かけをしています。なかなか定着していないのが現状です。地域の方々からも「笑顔で」「自分から進んで」「伝わる声の大きさで」挨拶することが十分でないことを御指摘いただいています。生活指導担当部署「ケヤキ」を中心に、より具体的な方策を練り、今後の対応を考えてまいります。また「特別の教科 道徳」の指導を通して、礼儀や思いやりの心情の育成にさらに努めて参ります。

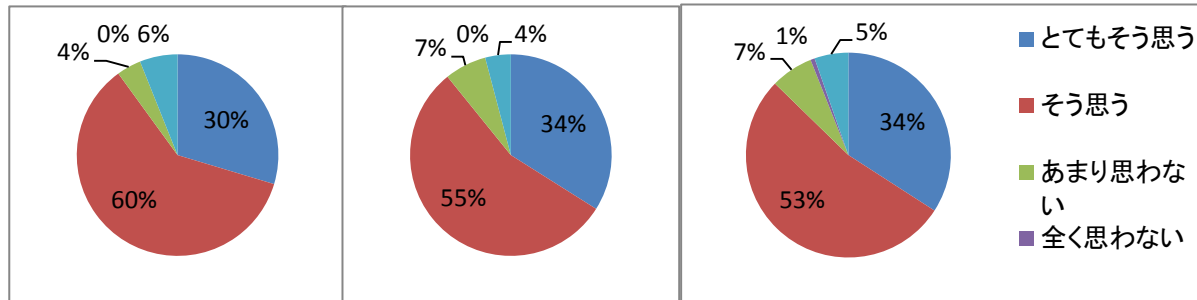
<生活>

【質問11】健康・安全に対する生活指導が適切に行われている。



残念なことに毎年評価が下がっていますが、毎月1回、全校で安全指導を行っています。今年度からは、身体測定の際には養護教諭による健康にまつわる指導を各学級ごとに行ったり、児童登校後は北・南側の門を施錠したり、休み時間終了後には昇降口の扉を閉めたりして、健康や安全に配慮しております。昨年度より校内の安全性は高まっているものの、より確実に行えるようにして参ります。また、それらの工夫が保護者の皆様にも御理解いただけるよう、ホームページや学校便り等でお伝えしていきたいと思ひます。

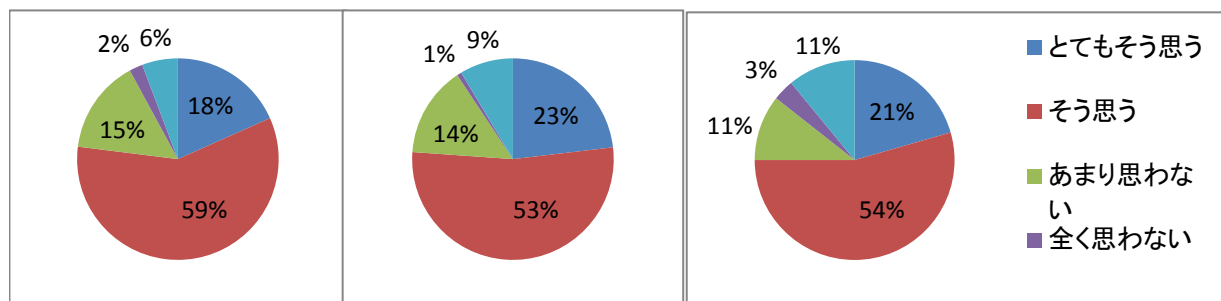
【質問12】震災や火災に備えての訓練を実践的に行っている。



本校では、市から指定される毎月1回の避難訓練だけでなく、不審者侵入を想定した訓練を独自に行っています。避難訓練は、いつどこで被災するかわからない状況に対応する力が身に付くよう、授業時間内だけでなく、休み時間や朝会時などにも行っています。昨年度より、保護者への引き渡し訓練を9月実施から4月実施に変更し、年度の早い時期に有事に備える訓練をするようにしています。今年度は、二次避難場所である保谷中に実際避難してみようという活動を新たに取り入れ、より実践的に行う工夫をいたしました。5年生児童や教職員のAED使用体験や全教員の地域総合防災訓練参加は来年度も引き続き行います。

【質問13】校舎内外の清掃や施設整理などが適切に行われ、学習環境の整備に取り組んでいる。

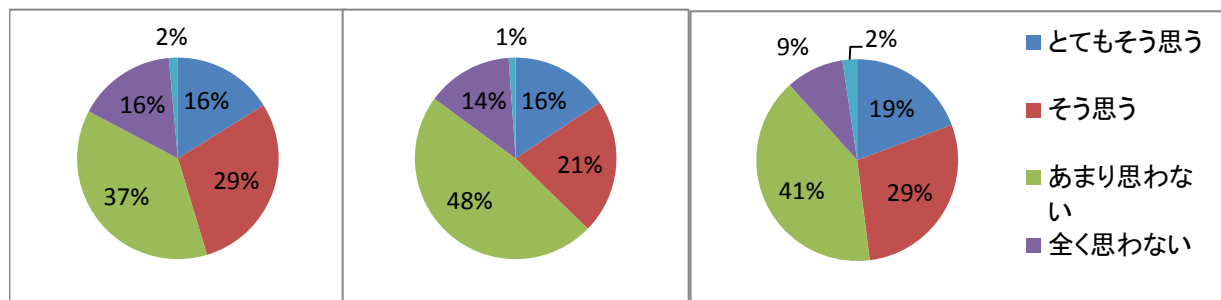
[5]



校舎等、施設に関する抜本的な改装は西東京市によるものなので、引き続き校内環境の改善要望を市役所にあげて参ります。低学年が使用している1階トイレに関しては、より一層念入りに清掃をしていただくよう業者に依頼しました。児童用椅子にテニスボールを付けて騒音を防いだり、教室や廊下の壁面のペンキを塗り替えたりと教職員やおやじの会の協力を得ながら、できる範囲での対応をしています。

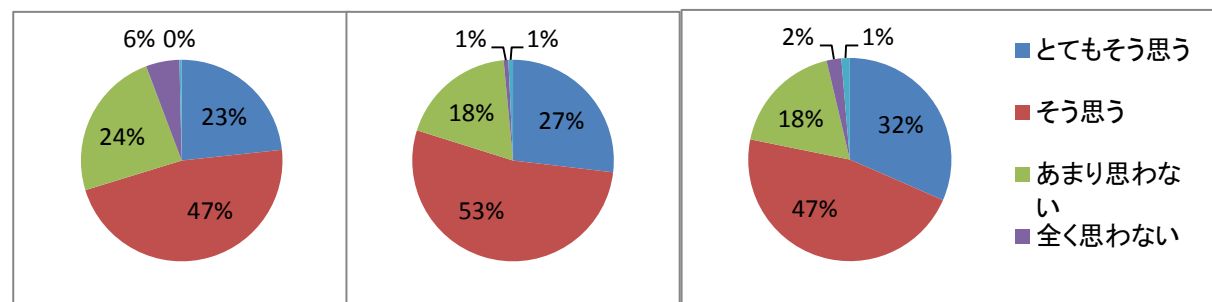
<ご家庭へのアンケート>

【質問14】お子さんは、年間を通してたくさんの本を読んでいる。



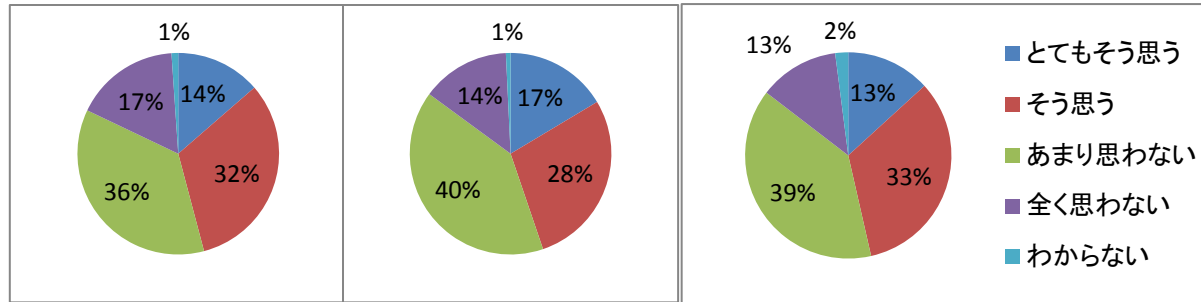
肯定的評価は年々少しずつ上昇し、昨年度より1割以上の肯定的評価が増えてはいるものの、その合計は5割未満という実態は重く受け止めます。来年度は週に3回程度行われている朝学習の日のうちの1日を朝読書の時間として設定し、児童の読書時間の確保をしていきます。本校の児童の大きな課題の一つとして捉え、朝読書以外にも、研究担当部署「クスノキ」を中心に、児童の読書量を増やすための具体的方策を提

【質問15】お子さんは、宿題や自主学習に毎日取り組む習慣ができている。



今年度は、毎日宿題を出すことと朝の支度時に提出することを全学級で共通の取組としました。教員の共通指導と保護者の方々の御協力により、児童の宿題提出も増え、習慣化されてきたことが、児童の実態からもアンケート結果からも分かります。一方で自主学習は形骸化されつつあるように思われます。そこで、学習担当部署「クスノキ」を中心に、各学年の実態に応じた自主学習の在り方を再考し、主体的にする態度が児童に身に付くよう、対象学年や内容を検討していきます。

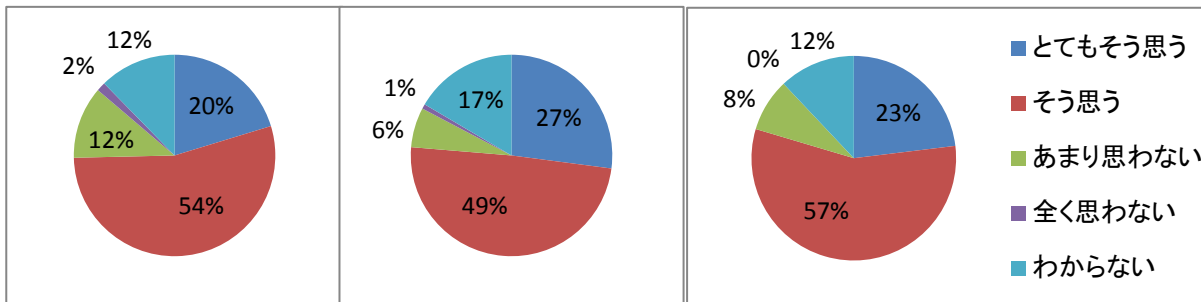
【質問16】お子さんは、テレビやゲーム、携帯電話などに依存することなく生活できている。



肯定的評価が5割未満であり、本町小の児童がテレビやゲーム、ネット等への依存傾向が3年間続いていることがわかります。これは本校の児童の大きな課題の一つと言えます。学校では、元氣いっぱい週間でテレビやゲームの時間の抑制を意識付けたり、SNS本町小ルールを高学年児童に指導したりしています。しかし、テレビやゲーム、携帯電話との根本的な関わり方は、保護者や御家庭の協力なしには改善できません。学校と家庭で共通の課題意識をもち、解決に向けて一丸となって向き合っていく必要があると考えま

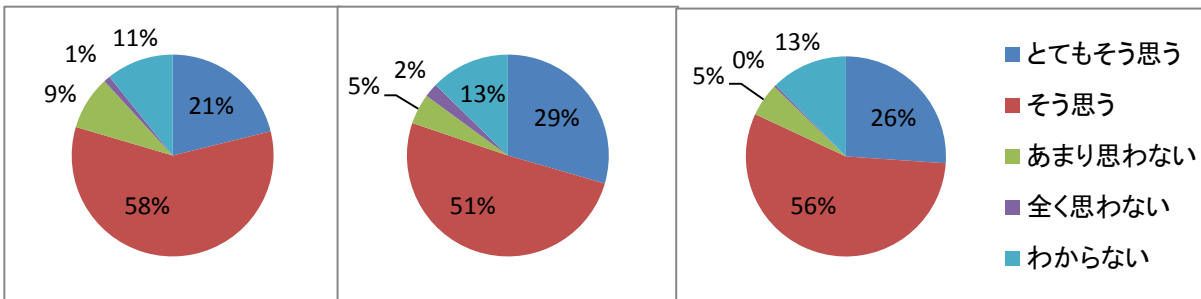
<地域・保護者との連携・開かれた学校づくり>

【質問17】学校は児童について、保護者の悩みや相談に適切に応じている。



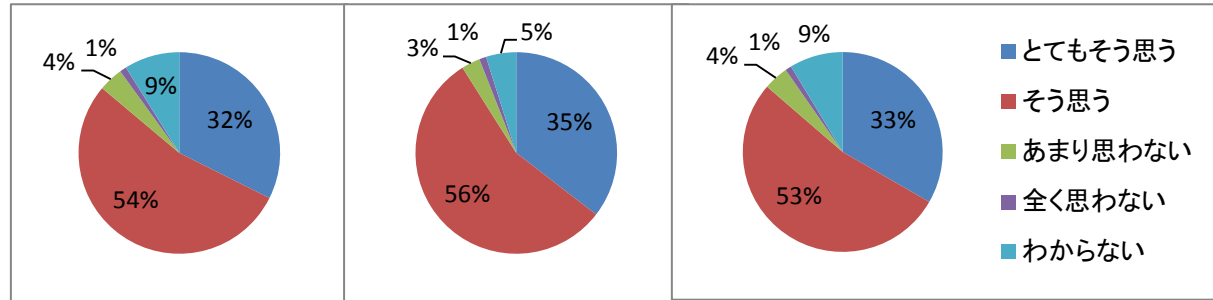
年々肯定的評価が増えています。今年度は西東京市全ての小中学校で、18時30分以降は留守番電話対応となりましたが、御相談に御不便かけていないようで安心いたしました。学校と保護者の両者が協力し合うことで、教育効果が倍増すると考えています。これからも、保護者の悩みや相談に適切に応じる本町小であり続けて参りますので、お子様についての心配や相談がありましたら、いつでも御相談ください。

【質問18】学校は保護者や地域の皆様の声を聞こうとしている。



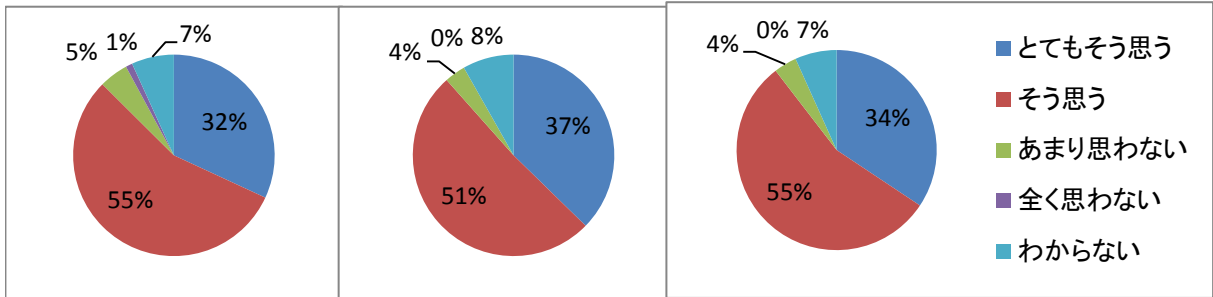
年々肯定的評価が増え、「全く思わない」がなくなりました。御提出いただいた保護者アンケートは全て目を通してあります。本町小の家庭数は約250ですので、いただいた御意見は十人十色ではありますがこれからもアンケート等による保護者や地域の皆様からの御意見を大切に受け止め、そして総合的に判断して学校運営を進めて参ります。

【質問19】学校は世話人会や育成会等地域行事に関わっている。



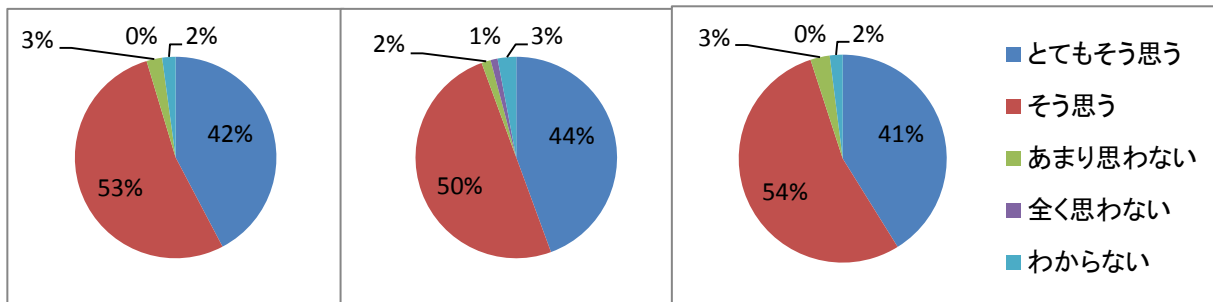
昨今、社会全体における働き方改革が課題となっていますが、教員にも働き方の見直しが迫られる時期となっています。授業準備や学校行事の運営時間の確保をするためだけでも教員の業務精選が必要となっています。そのような中で、地域活動に教員が関わることは大変難しくなっております。学校の中でできることとして、学習活動を通して地域とのつながりを深めていくことを検討中です。来年度も地域防災

【質問20】学校の電話や訪問時における対応は適切である。



電話や訪問時における対応は9割近い保護者の皆様より適切であると評価をいただきました。今後も引き続き、教職員一同、適切な対応を心がけて参ります。

【質問21】学校は学校公開や保護者会など、開かれた学校づくりに取り組んでいる。



95%の保護者の方々が肯定的評価とされ、開かれた学校づくりに御理解いただくことができました。、普段の授業や「特別の教科 道徳」やゲストティーチャーを招いた授業、児童がより主体的に活動する本町っ子まつりや運動会など様々な児童の姿が保護者の方々に見ていただけるよう、学校公開を計画的に実施しています。個人面談を年2回実施することで、教員と保護者がより連携できることを目指しております。来年度は、昨年度行った多摩六都科学館との連携学習「サイエンスフェスティバル」を学校公開日に計画しております。